【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：　2023　　年　4　　月　21　　日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人コミュサーあおもり
（2）事業名　：　フリースクールあおもりサニーヒル
（3）事業実施期間：2020 年　4 月～ 2023 年　3 月
（4）資金分配団体名：NPO 法人まちぽっと

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 現段階でそのような事実がないため
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 理事長任命の幹事　大鷹　依子
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	Web、新聞、SNS 等にクラウドファンディング、課外授業など活動のようすを掲載した。
広報制作物等	有	JANPIA、まちぽっと協賛の寄付パンフレット作成、活動の様子を掲載して運営資金の確保に活用した。
報告書等	有	事後評価報告書

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

運営資金確保のため、Janpia,資金分配団体まちぽっと指導のもとに、寄付パンフレット（活動のようす含め）を作成、青森県内教育支援サポーター企業への配布をして今後の運営資金強化の礎とした。NPO 法人としては内閣府の所属によるものなので体制強化、事業の進捗など事務作業、報告作業が緻密にしなければいけないことが負担となっている。できれば、上半期、下半期もしくは、四半期に分けて事業の進捗状況、活動の様子を報告した方が作業に余裕ができたと思う。この事業だけの作業ではないので業務が煩雑になったことは明らかである。また、運営資金には未だ不安定の域を越えられず、自己資金（事業収益）の確保すらできない状況である。コロナ禍において特別支援枠や事業継続助成金（経済産業省）など経営難をしのぐには助成金、補助金に頼らざる他には解決の道がないように思われる。寄付型 NPO として企業、外部団体、個人からの支援を募るしか運営は見えてこないと思われ、クラウドファンディング、共同募金会、サニーヒル HP 上での寄付ページ開設そしてまちぽっと（資金分配団体）、JANPIA による協賛指導のもと寄付パンフを活用して運営資金確保を少しでも進捗させたいと願うばかりである。運営資金の確保は同時に人材の確保も困難な課題である。運営資金の特に人件費に重きをおけない実情があり、当事者（子どもや保護者）への対応する業務への対価に支障をきたし、人材確保とその育成に課題がある事業だと思う。この事業は専門知識だけではなく人に対する対応、真摯に時には俯瞰的になり、ひとりひとりの対応が非常に重要だと改めて思うところが多かったからである。今後横の連携、放課後児童デイや塾などと共有しながら、または共存模索しながら新たなフリースクールあおもりサニーヒルを展開していけたらと願うばかりです。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

添付資料　活動の様子

春　畑課外授業　保護者参加　親子で畑耕作ボランティア、学生ボランティア　土づくり体験　　耕運機体験　種まき、秋収穫など

人とのコミュニケーションや畑での協働体験

生徒間だけでなく、ボランティア間との作業で畑づくりの大変さから作物の収穫、販売への体験で

社会体験授業の一環として重要な授業

じゃがいもほり、大根収穫、など畑にて楽しんで体験

収穫して後日販売体験も実施